

令和7年8月20日

養老町教育委員会
教育長 早崎 京子 様

養老町学校のあり方検討委員会
委員長 安田 和 夫



望ましい学校教育環境について（答申）

令和6年6月に「養老町学校のあり方検討委員会」が設置され、町教育長より本検討委員会に対し、本町がめざす学校像について諮問を受けました。本検討委員会は、本町の子どもたちが学ぶ環境として、どのような学校環境が望ましいかを、これまでに7回にわたる協議を重ねてまいりました。また、地域住民全体で本町のめざす将来の学校のあり方を考えていただくために、「教育シンポジウム」を開催し、さらには保護者、地域住民、教職員、保育従事者、児童生徒を対象にアンケート調査を実施し、その回答結果も踏まえて、評価分析をしてまいりました。

この度、以下の事項について、とりまとめ答申いたします。

1 諮問事項について

（1）児童数の推移を踏まえた小学校の適正規模、適正配置について

今後小学校7校を存続する場合は、全ての学校において小規模校となります。集団で学べる環境を整えるため、これまでにICTの活用等によって合同学習や交流学习を実施してきましたが、様々な人のニーズに対応し、多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくことを実現するには、全校が小規模校になるとその実現可能な範囲に限界があります。子どもたちの学校教育の充実や教育水準の維持向上の観点から、1学年が2学級以上で構成される「望ましい学校規模」とするため、中学校区で統合すべきと考えます。中学校区で統合することは、地理的条件や地域連携の観点からも適切であると考えます。また、小学校統合に際しては、本町が大切にしてきた人権教育を充実させると共に、それぞれの学校の伝統を継承しつつ新たな学校を目指すことに意義があると考えます。

（2）（1）を踏まえた養老町小中学校の将来像について

検討委員会での協議やアンケート結果を踏まえ、今後、本町の学校教育において大事にしたい将来像について協議した結果、

- ① 多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくこと
 - ② のびのびと過ごせる安心・安全な環境であること
 - ③ 学校・先生・仲間（上級生など）・ふるさと養老へのあこがれをもつ
- の3つの願いを導き出しました。

統合にあたっては、子どもたちの「みんなと楽しく過ごしたい」という思いを大切にしながら、集団の中で学び合い、わくわくできる学校、町民の願いのこもった学校を提案すべきだと考えます。

今まで、本町では、すべての学校が、コミュニティ・スクールのよさを生かした地域と共にある学校づくりを目指してきました。統合後は、このことを大切にすると共に、「養老町はひとつ」としての教育理念のもと、高田中校区（小1、中1）と東部中校区（小1、中1）が「横のつながり」を深めていくことを期待しています。

また、「縦のつながり」として、本町の学校教育の願いを大切にするために、小中一貫教育を進めていただくことを提案します。義務教育9年間の学びを系統立てたものとし、本町の特色ある教育を一貫して進めることができるように取り組んでいただきたいと考えます。こうした横と縦のつながりを大切にする中で、本町が大切にしてきた「人権学習」や「ふるさと学習」がより充実されていくことを期待しています。また、今まで以上に保育園・こども園及び高校との接続についても併せて考える必要があると考えます。

価値観が多様化している現在、教育は学校の中で完結するものではありません。10年後、20年後の本町の学校の姿を教職員、保護者、地域住民が共有し合い、一歩先に同じ景色を描きつつ、子どもたちの周りにいるすべての大人たちが、「教育の当事者」としての自覚の中で働きかけていくことが重要だと考えます。そのためには、今後も、日本の学校教育のあり方の変化や本町の社会的動向を見極めつつ、新たな学校づくりを検討、着手する可能性を見通し、これまで以上に町民の総意をもって学校のあり方を熟議していくことが望まれます。

2 統合の進め方と新たな学校づくりと実施時期について

統合の進め方や新たな学校づくりなどは、熟議を重ね、連携と協働のもと実現すべきであるため必要な協議組織「(仮称)養老町立小学校再編準備委員会」を速やかに設置し、協議・調整を図るべきだと考えます。

統合の実施期間は、今の児童が新体制の小学校で教育が受けられるよう、遅くとも令和12年度の開校をめざして検討を進めていただきたいと考えます。

3 おわりに

この答申を踏まえ、将来を担う子ども達の未来のため教育委員会部局と町長部局が一丸となって取組を進めていただき、統合後の学校においては、保護者、地域住民が主体的に学校づくりに関わっていけるような環境を整えていくことを求めます。また、統合に関する決定事項は、積極的に保護者や地域の皆さんへ情報提供を図ることで不安解消に努めていただきたいと存じます。